

クリーンエネルギー協力のための日本-サウジアラビア王国間の ライトハウス・イニシアティブに関する共同声明（和訳）

2023年7月16日、ジッダにおいて、サウジアラビア王国のムハンマド・ビン・サルマン・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード皇太子兼首相と岸田文雄内閣総理大臣は、二国間会談を開催し、クリーンエネルギー協力のための日本-サウジアラビア王国間のライトハウス・イニシアティブを設立することを決定した。

双方は、ネットゼロ及びクリーンエネルギーへの野心を認識し、クリーンエネルギー協力のための日本-サウジアラビア王国間のライトハウス・イニシアティブを設立することを決定した。このイニシアティブは、他の国・地域がネットゼロへの野心に向けた戦略とロードマップを開発する際の道標となる。

サウジアラビア王国は、脱炭素化と2060年までのネットゼロの達成に対する強い野心を持っており、世界的に安価な再生可能エネルギーとクリーンな水素のコストと、世界へのエネルギー製品の貿易路における戦略的な位置の恩恵を受けている。

日本も、2050年までのネットゼロ達成のための脱炭素化への強い野心を持っており、クリーンエネルギー技術ソリューションの世界的な先駆者である。

ライトハウス・イニシアティブは、クリーンエネルギープロジェクトと持続可能な先端材料におけるサウジアラビアと日本のリーダーシップを示すとともに、持続可能で確実な供給を確保するためのサプライチェーンの強靱性を確保することを目指しています。このイニシアティブは、サウジアラビアがクリーンエネルギー、鉱物資源、エネルギーに必要な要素のサプライチェーンのハブとなるために取り組んでいる継続的な取組を支援する。

このイニシアティブには、持続可能な様々な素材が含まれる。この取組により、サウジアラビアと日本の先進企業の参加が促進され、既に継続中の協力関係が拡大されるとともに、再生可能エネルギーのための部材など、ライトハウス・プロジェクトの開発を可能とするエネルギー・サプライチェーンに多様な部材を提供する。

このパートナーシップは、水素とアンモニア、e-fuel（合成燃料）、循環型炭素経済/カーボンリサイクル、直接空気回収（DAC）、エネルギー部門とサプライチェーンの強靱化に必要な重要鉱物、持続可能な先端材料、研究と知見の交換などの分野に焦点を当て、クリーンエネルギーへの移行を導くライトハウス・プロジェクトを開発する。

ライトハウス・イニシアティブを実現するため、両国は、両国の強み、野心、先進企業・機関を組み合わせることにより、クリーンエネルギーと鉱物資源のサプライチェーンにおける協力を確認し、クリーンエネルギーの市場を拡大してコストを低減させるとともに、サプライチェーンをより強靱なものとする。

今後、双方は、イニシアティブの作業計画の共同策定を促進し、追加の参加者の詳細なリストを特定し、グローバル及び地域のパートナーに対してイニシアティブへの参加を働きかける。

(以上)